

2025年大阪・関西万博推進本部

〈第14回議事録〉

- 日 時：令和8年2月13日（金曜日） 16時00分～17時20分
- 場 所：大阪市役所 P1階（屋上）会議室
- 出席者：出席者名簿のとおり

1 大阪・関西万博の実績について

(1) 大阪・関西万博の開催状況

(彌園万博推進局長)

ただいまから2025年大阪・関西万博推進本部第14回会議を開催させていただきます。本日は何かとお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。万博推進局の彌園でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日、万博が閉幕してちょうど4ヶ月となりましたが、今なお街中ではたくさんの方がアフター万博を楽しんでおられるということでございます。このような状況にありますのも、この間、各所属の皆様方に万博に関する様々な取組にご支援・ご協力をいただいたおかげだと考えております。この場をお借りしまして改めて御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

本日の会議では次第にあります通り、万博の開催状況等に加えまして、万博が大阪にもたらした変化を議題としておりますが、この点につきましてはこれまで万博関係の調査分析に精通しております三菱UFJリサーチ&コンサルティング様からお話をいただくこととしております。

それでは開会にあたり、吉村本部長にご挨拶をお願いしたいと思います。吉村本部長、よろしくお願ひいたします。

(知事)

2025年大阪・関西万博推進本部本部長の吉村です。本日は非常にお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また、高科副事務総長、そして三菱UFJリサーチ&コンサルティングさんからもご出席いただきましてありがとうございます。御礼を申し上げます。

昨年の大阪・関西万博、春から秋にかけて本当に素晴らしい万博をすることができたと思っています。2022年4月からこの本部を設置いたしました。以来、これまで13回にわたって進捗状況の確認や課題の整理、検証、そして実際の対応、そういったものを実行して参りました。こうしたオール大阪での体制のもとで国、そして博覧会協会等とも一丸となって様々な準備に取り組むことができ、また、会期中の取組をすることができたと思っています。それもあって、2,900万人の方に参加をいただける万博となりました。また、そこで未来社会の技術や価値観、様々な国の伝統、文化、食、そして人と人との出会いとい

うのも多く生まれました。まさに共創、共に創るということにふさわしい万博であったと思っております。そして何より大きな事件や事故なく夢洲の地において開催できたことを本当に改めて全ての関係者の皆さんに感謝を申し上げます。

今回、今日をもってこの本部会議が最後になります。この後の万博の振り返りについてはもとより、今後の取組等についても報告があるということでもあります。博覧会協会さん、そして三菱UFJリサーチ&コンサルティングさんにもご意見をいただけるということですのでありがとうございます。未来の大阪に向けた足がかり、そして未来の更なる第一歩にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(志村万博推進局企画部長)

それでは次第に従って議事を進めます。これより先の進行は万博推進局の志村が務めさせていただきます。

本日は2025年日本国際博覧会協会から高科副事務総長、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社から秋山執行役員にご出席いただいております。大阪府・市からの出席につきましてはお手元の出席者名簿の通りです。

それでは議題の1つ目、大阪・関西万博の開催状況につきまして博覧会協会の高科副事務総長よりご説明をお願いいたします。

(高科副事務総長)

博覧会協会の高科でございます。本日お時間をいただきましてありがとうございます。また、吉村知事、横山市長をはじめ、大阪府・市の皆様におかれましては万博開催にあたりまして多大なるご支援を賜りましたことを改めまして御礼申し上げます。

それでは冒頭、私から万博の振り返りということでご説明させていただければと思います。ページ数の多い資料なので、少し飛ばし飛ばし行かせていただければと思います。はじめに4ページをご覧くださいませでしょうか。今回の万博の開催にあたりまして、我々としてはその成功のための必要条件ということで3つ、ひとつは大きな事故を起こさないこと、もうひとつは収支等で赤字にならないこと、それから多くの方にご来場いただくこと、この3つについて、概ね達成できたのではないかと考えてございます。その要因を考えますと、やはりひとつは圧倒的なコンテンツの素晴らしさだと、大阪ヘルスケアパビリオンもそうでしたけれども、全てのパビリオン、イベント、素晴らしいコンテンツだったと思いますし、それを我々からの発信だけではなく、ご来場された皆様ご自身の楽しい体験としてたくさん発信していただいた、そうしたことによって大きな広がりを得ることができたのではないかと考えております。もうひとつは運営面で毎日改善ということで実施させていただいたことがあったのかなと考えています。収支上赤字にならないことにつきまして6ページ、入場券の販売の推移ですけれども、やはり始まる前はなだらかなカーブで基本的には企業の皆様のご購入に頼るようなところが大きかったのかなと思います。

れども、始まってみるとやはり実際にご覧いただいて素晴らしいと感じていただき、特に通期パスの売り上げが当初すごい勢いで伸びたということがあったかなと思います。次の7ページ目はライセンス収入ですけれども、10月時点で1,250億円ということで、ミヤクミヤクも最初の頃は「本当に怖い」、「気持ち悪い」、「万博から帰れ」等と言われて、私も目の前で泣くお子さんを見かけたことがありますけれども、それが段々と人気を得ておかげさまで非常に可愛がっていただいたということで、まだまだ可愛がっていただき続けているのかなと思ってございます。その上で収支どうだったのかというのが8ページの運営収支の見込みですけれども、収入については計画では1,160億円でしたけれども大体320億円くらい上回る見込みとなっております。支出につきましては、一部閉幕後の人件費やデータの保存、租税公課等の不確定な要素がございますけれども、計画の1,160億円から最大50億円くらい削減となる可能性があるということで、これを踏まえまして収支幅として約320億から約370億の黒字ということを理事会で報告させていただいているところでございます。次の9ページは運営費の執行状況ですけれども、25年11月末時点の契約済みの金額は906億円、これは1,160億に対しまして78%になってございます。今後の執行予定といたしましては会期中までに実施した事業の精算、それから閉幕後から協会の清算までと2つに区分しております。会期中につきましては個別の収支総事業や既存の契約の精算への対応等として約58億円、それから閉幕後から協会清算までについては、租税公課や人件費、賃料といった協会の解散までのランニングコストで約196億円を見込んでいるということがございます。建設費につきましては、次のページですけれども、これも11月末時点の契約済みの金額は2,147億円ということで2,350億に対しまして91%ということがございます。9月末時点からプラス10億円でございます。今後の執行予定でございますけれども、主に解体の関係となる委託135億円でこのうち大規模発注案件の会場基盤、地中の埋設管の撤去等ですけれどもそういった工事が約3割から4割で、その他は既存契約工事等の変更、これは物価対応とか軽微な工事変更ということになります。それからリユース対応による丁寧解体等で一部予備費の可能性があるとしておりますけれども、解体工事の入札とか変更手続きも進んでいることから既存の予算と一定の隙間が生じており、できる限り既存予算に収まるよう鋭意努めているところです。予備費につきましては130億円のうち62億円の執行を認めていただいておりますから、現状、2,282億円を執行管理額として運用しております。今後につきましては、今のところ予備費はこれ以上使わずに事業を完了させることを目指しているところでございます。続きまして、多くの方に来場いただくことに関しまして13ページをご覧くださいければと思います。今回、来場者の比率ですけれど、海外5.2%で2,820万のうち350万人という想定を出してましたけれども、この12~13%に対して5.2ということでしたけれども、現実に正確に分析してるわけではないんですけれども、おそらくひとつには先ほど申し上げたように、日本人の間でSNSの拡散による広がりがあったので一気に広がっていったことから日本人の方はリピーターが非常に多かったんですけれども、なかなか海外の方はそういう来られ方は難

しかなかったのではないかと考えてございます。国内では近畿が圧倒的でした。ちなみに海外は上から台湾、中国、アメリカ、香港ということだったんですけれども、韓国9番目でちょっと少ないなという感じはあったんですが、その間にドイツやフランス、カナダ、タイがたくさん来ていただいたことで、今後のインバウンドの方向性を考えるときにもひとつの示唆的なものになるのではないかなと思います。16ページ、円グラフの右側に書いてますけれども通期パスお持ちの方は大体12回ぐらい来られていました。1日の入場者で見ると大体1～2割が通期パスの方でした。夏休み中は夏パスがありましたけれども、合わせると大体夏休み中は3～4割の方がリピーターだったということになっております。それから18ページ、万博の満足度ということで全体として大体75%ぐらいの満足度、特に最終日が92.8%の方に満足いただいているということです。やはり後半に入りますと特にリピーターの方と初めて来られた方の満足度が少し開く傾向にあって、やはり色々なもので取り負けてしまうということがあったのかなと思ってます。後半、毎日花火大会をやりましたけれども、花火大会をやると全体満足度が5%ぐらい上がる傾向にあって、パビリオンに入らなくても、リングに登って花火を観て、ドローンショーを観て楽しかったねと言って帰っていただけるようなことを目指した運営を後半は考えておりました。19～21ページ辺りは大阪ヘルスケアパビリオンをはじめ、素晴らしいコンテンツのご紹介です。22ページですが、毎日改善の方でこういうことやってましたということなんですけど、毎日アンケートを取っていたんですけど、大体1日5千件から1万件ぐらいのかなり回収率が高いアンケートになってましたけれども、Xとかインスタでつぶやかれていること、例えば、「中国パビリオンの前が混んで怖い」や「トイレがわかりづらかった」等、そういったものをAIで分析をかけてその中でできる改善はその日のうちに改善しようということで、例えば、トイレわかりづらいと言われても、看板を作ると時間がかかるので三角コーンを持って行って「トイレ」と矢印を貼るとかそういったプロセスを毎日しておりました。結果として不便を感じたお客様が次に来られたときに改善して良くなっていると感じていただいて、それがポジティブな循環に繋がったということがあったのかなと思っております。25ページですけれども、会期中毎日ナショナルデーがありまして多くの海外の方が来られましたけれども、国家元首クラスでいうとトータルで91名来られるということで180日間の会期で91名で、2日に1回はそういうクラスの方々が来られたので、この方々は当然万博会場以外に色々なところに行かれると思うので、もちろん大阪府・市も寄られていると思いますけれども、日本中色々なところで外交が行われているのかなと思います。26ページにはビジネス交流の例として、大阪商工会議所さんがまとめている例を付けさせていただきます。27ページは閉幕後の今どういう状況になってるかということで、着々と解体の工事が進んでおります。今、リングはナショナルデーホールの辺りはもう大きく開いていてトラックの出入り口になってますけれども、それ以外の部分についても丁寧解体を進めていたり、パビリオンも更地になっているところもあればこれからというところもありますけれども、基本的には順調に進んでいるところです。28ページ、次

のフルスペックの万博は5年後のリヤド、その間に少し小さい万博ということですが、横濱の園芸博とベオグラードがあります。横濱の園芸博は気づけばもうあと1年後には始まっている状況ということであってという間という感じでございます。それ以降参考資料として付けさせていただきますけれども、29～30ページは今回の万博でギネス18件ありましたということで、大屋根リングもありましたけれども大阪府・市さんも盆ダンスで2つギネスをお取りいただいておりますし、次のページでは万博おばあちゃんや吉本興業さんのAIで検知された笑顔の最多数等、色々なものがギネスレコードを取っていただいているということです。31ページ以降は万博で使われたパビリオンだけではなく色々なモニュメントや展示品が今どこに行っているのかを我々も網羅的に把握できないので、この資料自体は報道機関の発表によるもので我々が検証しきれないものも載せてますけれども、こういう情報は割とニーズがありますから少し整理したものを10ページにわたってつけてますので、お時間がある時にご覧いただければと思います。

(志村万博推進局企画部長)

ただいまの説明内容につきまして、ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

(高橋副市長)

高科副事務総長、ご説明ありがとうございます。私からは会場建設費の今後の執行予定につきまして確認させてもらいたいと思っております。

昨年の6月及び10月の理事会におきまして、大屋根リングリユースのための丁寧解体等によって追加の予備費執行の可能性があると議案として出ておりました。先ほどの説明では予備費の追加執行には現在至っていないことのご説明がございました。大屋根リングを協会から引き受けるまでの間、適切な維持管理に要する費用も含めて追加の予備費を使うことなく、この2,282億円の計画の中で執行可能なかどうか、改めて現在の見込みをお聞かせ願えたらと思います。

(高科副事務総長)

ご指摘の大屋根リングにつきまして、今協会が管理しているその期間、リングの部材の状態の低下を抑制するための措置や維持管理につきましては会場建設費からの執行を想定しているところであります。今、大阪市さんと協会の間で部材の状態の確認を実施させていただいておりますけれども、状態を見ながら適切に対応していきたいと考えておりますが、現時点でリングのリユースに伴う解体費等の追加経費も含めて2,282億円の予算計画の範囲内で執行可と考えているものです。協会としましても予備費はなるべくこれ以上使わないよう努めていきたいと思っております。

(志村万博推進局企画部長)

他、いかがでしょうか。森岡副知事、お願いします。

(森岡副知事)

資料の 27 ページ目、工事等のスケジュールご説明いただいたんですけども、2 点ばかりご確認させていただきたいところがありまして、会場建設の残された課題と申しますか、パビリオンの未払い問題があるかと思えます。現状につきまして、協会のご認識教えていただければというのが 1 点、また、既に解体工事にかかって順調ということですけども、タイプ A、民間等パビリオンの中の特に海外パビリオンの進捗状況、それと解体において建設時のような未払い問題を発生させないような対応をやっておられるようでしたら教えていただければと思います。

(高科副事務総長)

まず、建設関係の不払い問題は本当にケースバイケース、各ケースで状況が異なる中で現状解決してるものもあれば訴訟になっているものもあるという状況です。協会もこれまで大阪府・市さん、あるいは国と一緒にになって一体的に相談窓口をつくり相談をしながら進めてまいりましたけれども、今後も引き続きしっかりとその体制のもとで、なかなか協会独自にやることのない状況であるんですけども、そういう中でできるだけ府・市さんあるいは国とも協力しながらきちんと丁寧に対応していきたいと考えています。それから解体の方ですけども、海外パビリオンの解体工事は現在、いわゆるタイプ A のパビリオンについて 47 カ国のうち、現時点で 45 カ国が解体工事の開始許可証を交付されていて順調に施工者の決定がなされて工事が進められているところです。残り 2 カ国についても解体工事の開始に向けて事業者の選定の手続きが進められておりまして、予定通り会場敷地を大阪市に返還できる見込みでございます。今回建設時にあのようなことが起きたこともありまして、協会としても改めて法令順守は訴えかけているところでございますし、国土交通省さんだと思いますけれども、契約変更のときにはきちんと書面でやるように指導が出てるといいますので、我々もしっかりと目配せをしながら法令遵守に違反するようなことが起きないようにしっかりと見ていきたいと思っております。

(2) 大阪府・市の取組状況

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、2 つ目の大阪府・市の取組状況に移ります。初めに全体概要につきまして、万博推進局よりご説明いたします。

(彌園万博推進局長)

万博推進局の彌園でございます。それでは資料 2-1 大阪府・市の取組状況の全体概要に

ついて私から説明させていただきます。

まず1ページでございます。大阪・関西万博の来場者ということで、先ほど高科副事務総長の話とも重なるんでございますけれども、資料の右に国内来場者の内訳都道府県別をつけております。その割合を見ると大阪府在住の方が最多の約4割となっているところでございます。次のスライドで交通アクセスの取組というところですが、来場者の交通手段につきましては鉄道利用者が全体の7割を占めました。また、円滑な交通アクセスの実現に向け、大阪メトロ中央線で臨時列車の運行や終電延長等を実施いただきました。他、交通混雑のために沿線企業等の方々にもご協力いただきながらTDMの取組を行いました。こうした取組もあって大きな混乱なく来場輸送を行うことができたと考えております。次のスライド、機運醸成・来場促進の取組でございますけれども、ホームページやSNS等を活用いたしまして、万博のパビリオンやイベント情報等をタイムリーに発信いたしました。それに加えましてシティドレッシングで大阪の街全体で万博を盛り上げるような装飾を施した他、府内各所でチケット購入等サポートする万博来場サポートデスクの設置等にも取り組んだところでございます。次のスライドは参加促進の取組で、府民・市民や府内市町村等の方々に広く参加をいただくことを目的に、空港や府内の主要駅でのボランティアの活動や府内各地の魅力を国内外に発信する大阪ウィークの開催、大阪の子どもたちの万博会場への招待、また万博参加国との国際交流等を実施したところでございます。次のスライド、大阪府・市や経済界、企業、団体等が一体となって、大阪ヘルスケアパビリオンを出展いたしました。リボーンをテーマに未来のヘルスケアや都市生活の展示の他、中小企業の技術力の発信等を行いました。こうしたことで想定を大幅に上回る約553万人の方にご来館いただきまして、来館者にアンケートを実施させていただいたところ、97.3%の方から満足したとのご回答をいただいたところでございます。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、各専門部会の万博開催中の主な取組実績と今後の予定につきまして部会長よりご説明いただきます。

各部会長におかれましては、誠に恐れ入りますが、お時間の都合上、おひとり2分以内を目安にご説明をお願いいたします。

まずはじめに、財政総務部会から松井大阪府政策企画部長、よろしく願いいたします。

(松井政策企画部長)

財政総務部会です。取組実績と今後の予定についてご報告します。

1ページ目をご覧ください。財政総務部会では大阪版万博アクションプランに基づく府・市の取組の進捗管理、予算要求、執行状況の把握や府・市全体予算の編成状況の共有、必要な府・市の組織体制の確保等に向けた検討調整を担ってきたところでござい

す。大阪府・市におきまして、同アクションプランにおける各項目の施策を重点的に進めるとともに、博覧会協会や経済界とも連携しながら国との協議・調整を行い、国のアクションプランへの位置付けや、国と地方の協議体の設置あるいは補助金への採択等の成果が得られたところがございます。また、更なる府・市の取組の具体化に向けて、アクションプランの改定を計4回実施しております。今後も大阪・関西万博のレガシーを一過性のもとのせず、大阪・関西の持続的な発展に向けて、本日の会議で後ほどご説明させていただきますが、万博アクションプランの振り返りにより今後の取組に繋げてまいります。また、予算面におきましても、万博関連事業の執行管理を実施し、第12回万博推進本部会議で報告を行ったところがございます。引き続き大阪・関西万博に要する府・市の費用の公表を行い、執行状況を確認してまいります。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、危機管理部会から奥平大阪府危機管理監より申し上げます。

(奥平危機管理監)

危機管理部会奥平でございます。それでは安全・安心な万博開催のため関係機関と連携して取り組んでまいりましたその状況につきましてご報告させていただきます。

まず2ページのところからですが、万博会場との連絡調整につきましては万博開催中、府・市の危機管理室職員をリエゾンとして延べ736名派遣をいたしました。平時から博覧会協会と緊密な連携をとらせていただきまして、昨年7月の津波注意報発表時や8月の大阪メトロ運行支障発生時にもリエゾンを通じて迅速に状況確認と情報共有を実施したところがございます。続いて警備体制でございますが、約250名の会場警察隊が24時間体制で会場内に常駐し、民間警備員と連携して事件・事故対応や要人警護、雑踏警備等を実施したところがございます。消防・防災体制につきましては、大阪市消防局が会場内の消防センターに消防車や救急車を常時配備し、会場内やその周辺での火災救急事案等に対応するとともに、国内外の賓客来場時には、特別警戒等を実施していただきました。次のページをご覧ください。災害時の医療体制につきましては、災害拠点病院、災害医療協力病院での患者受け入れやDMAT派遣等の体制を整備してまいりました。災害時の備えにつきましては、万博会期前、会期中に訓練を実施いたしまして、関係機関との緊密な連携体制を構築してまいりました。更に帰宅困難者対策として博覧会協会の備蓄60万食に加えまして、府・市で30万食の食糧を提供するとともに会場外や主要ターミナル駅周辺での一時滞在施設の確保等を進めてまいりました。防災情報の発信につきましては、大阪防災アプリと大阪観光局アプリの「Discover OSAKA」とが連携いたしまして、防災情報を発信してまいりました。

取組状況につきましては以上でございます。万博で得られました知見やノウハウにつきまして、今後、国際的な催事等での災害対応にしっかり活かしてまいりたいと思います。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、医療衛生部会から西野大阪府健康医療部長、よろしくお願いします。

(西野健康医療部長)

医療衛生部会です。

まず(1)の感染症対策の強化につきましては、府・市に加えまして大阪健康安全基盤研究所及び国立感染症研究所の職員で構成いたします感染症情報解析センターを昨年1月14日に開設し、運用を開始いたしました。同センターでは感染症情報を集約化しリスク評価を行った上で、関係機関や一般住民への情報発信を行ったところでございます。また、万博を契機として会場周辺における下水サーベイランスの実証実験を実施いたしました。これらの取組を万博後、更に発展させ、次の感染症パンデミックに備えるため、多角的なリスク評価のための連携強化や訓練の実施、下水サーベイランスのデータ蓄積等を進めてまいります。次に(2)の外国人患者受入体制といたしまして、177の医療機関での受入体制を整備するとともに、日本での医療機関の受診方法の動画を作成する等、周知啓発に取り組んでまいりました。今後とも府内に滞在する外国人が安心して受診できる環境を更に充実してまいります。次のページの(3)でございます。衛生対策につきましては昨年2月3日より会場衛生監視センターを運営し、食品衛生や環境衛生の延べ8千件を超える施設の監視指導の他、食中毒予防の啓発等を実施いたしました。更に(4)の救急医療体制としまして、あらかじめ指定をいたしました万博協力病院との連携や大阪市消防局による会場内の救急隊の配置等によりまして円滑な医療搬送体制を確保した他、搬送体制につきましては約千名を会場外の病院に搬送いたしました。(5)の毒劇物の適正管理に関しまして指導を強化いたしました。これらの取組につきましては今後、大規模で長期間にわたる国際的なイベントに生かしてまいりたいと考えております。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、産業振興部会から馬場大阪府商工労働部長、よろしくお願いします。

(馬場商工労働部長)

産業振興部会です。万博は大阪の産業力を国内外に示す極めて大きな機会となり、各分野で具体的な成果が得られました。これらは万博の成果をレガシーとして着実に発展させてまいります。

資料に行きます。まず社会実装です。内外で関心の高いカーボンニュートラル分野では大阪発の最先端技術を多くの来場者や企業に示すことができました。ライフサイエンス分野では国内外の関係者を中之島クロスに誘引し、海外クラスター等と18件のMOUを締結、また、国際シンポジウム、未来の医療EXPO開催等、大阪のポテンシャルを世界に

示しました。大阪技術研では、Beyond 5Gの企業への伴走支援の他、万博や専門展示会での交流、情報発信とニーズ把握を実施する等、先進材料の技術開発を支援いたしました。次のページ、空飛ぶクルマです。会場内外でのデモフライト等により社会的な理解が深まった他、インフラ整備等、大阪での商用運航に向けた取組、PRを進めることができました。スタートアップにおいては、GSEをはじめとするイベントに多くの参加者が集まり、大阪・関西のエコシステムの国際的なプレゼンス向上と万博でしか繋がれない関係者とのご縁ができました。また、リボーンチャレンジでは中小企業等432社が革新的な技術を発信しました。今後については万博で展示披露したカーボンニュートラルやライフサイエンス、空飛ぶクルマ等、最先端技術や製品等について実装化・産業化を、万博を開催した地元の自治体である大阪府・市をはじめオール関西で推進する枠組を用いて大阪での早期実用化に繋げてまいります。また、スタートアップについてはGSE2026の開催が決まりましたことから、我が国を代表する拠点としての地位の確立と社会で活躍するスタートアップの輩出に繋げてまいります。次に3ページ、国際ビジネス分野です。会場内外での展示会等の開催出展、相談窓口の開設等に加え、視察の受入を積極的に行いビジネス交流に努め、延べ18の国・都市等とMOU等の締結に繋げるとともに、MICEの誘致、開催を支援いたしました。今後、海外ネットワークを活かした中小企業等の海外展開を継続的に拡大させる他、国際会議の開催も引き続き支援してまいります。次のページ、万博のビジネスについてです。商店街の誘客を図るとともに、万博に向けた商品の開発と販売、ものづくり企業の発信を行いました。大阪産（もん）については国内外関係者とのビジネス交流や国内外のPR等に取り組みました。万博を糧に事業者の方が成長できるよう、技術製品の開発や国内外の販路開拓の経営支援、そして資金支援でしっかりフォローいたしますとともに大阪産（もん）のブランド力の向上、販路拡大を図ってまいります。万博を一過性のイベントに終わらせることのないよう引き続き全力で取り組みます。

（志村万博推進局企画部長）

続きまして、地域連携イベント部会から松阪大阪府府民文化部長、よろしくお願ひします。

（松阪府民文化部長）

地域連携イベント部会でございます。当部会の取組状況についてご報告いたします。

資料の10ページの左側（1）の大阪府・市関係部局の主催行事等での取組ですが、万博の更なる来場促進に取り組みとともに大阪の多様な都市魅力を創出するため、音楽ダンス等の大規模イベントやエンターテイメントを提供する大阪賑わい創出事業、また、万博来場者の府内滞在や府内周遊を促進する大阪来てな！キャンペーン、それから多くの来阪者に歌舞伎や能等の大阪の文化芸術を楽しんでいただく大阪国際文化芸術プロジェクト等を実施いたしました。続いて次の11ページ左側でございます。万博に訪れた来阪者を光

でおもてなしするため大阪光の饗宴 2025 の一部のプログラムを万博に合わせて4月から実施し、船上からも楽しめるOSAKAリバーファンタジーを実施した他、府内各地への誘客を図るために大阪文化資源魅力向上事業を実施いたしました。また、関連する取組では御堂筋において様々な道路空間の使い方を試みる社会実験イベント、未知の未来体験EXPOを開催いたしました。次に(2)の府内市町村が主催する行事との連携としまして、2023年度に創設しました市町村補助金を活用し、府域全体での機運醸成と来場促進を図りました。2025年度までの3ヶ年で86の事業、約3,800万円の交付決定を行いました。最後に今後の予定でございますが、万博閉幕後も引き続き大阪への誘客促進や賑わいを創出するため、様々なコンテンツを提供し、大阪の新たな魅力として定着させる取組や伝統芸能をはじめとした多彩な文化芸術プログラムを実施することとしております。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、交通対策部会から美馬大阪府都市整備部長、よろしく申し上げます。

(美馬都市整備部長)

交通対策部会からご報告させていただきます。

まず12ページです。12ページは万博会場周辺での道路交通円滑化対策について取りまとめております。こちらではAIカメラ等によるモニタリングや分析予測を行って、繁忙期にはIR工事車両の通行抑制等追加対策を実施、交通容量が非常に厳しいと想定されていた阪神高速湾岸舞洲出口においても当初予測の89%までに交通量を抑えることができ、円滑な来場者輸送が実現したと考えています。また、舞洲・夢洲においても個別に適切な交通規制をすることによってアクセスに大きな混乱は発生しなかったと認識しています。これらの取組から得られたノウハウを今後具体的な道路管理、イベント等にも活用しようと考えています。次、13ページをご覧ください。こちらは路上工事の抑制とサイクルラインの活用について取りまとめています。会期中、大阪市内の昼間の路上工事は前年比で半分以下に抑えていただいたことで交通量の確保に寄与したと考えております。サイクルラインにつきましては、府内で4ルート計120キロのルートで安全・快適に移動できるよう、万博会場までの案内サインの設置等を行いまして、例えば、淀川リバーサイドサイクルラインでは期間中4.5万台のサイクリストが利用したということでございます。引き続き府内周遊促進に向け、2026年の大阪ベイサイドサイクルラインの大阪南部への延伸事業に着手してネットワーク拡大に取り組んでいくつもりでございます。最後に14ページでございます。公共交通機関での混雑状況の見える化機能を付加しましたeMetroアプリの活用や府内約60駅での整備補助によるQRコード決済等のキャッシュレス化を促進したところです。例えば、関西Maasアプリにおきましては、閉幕時点で開幕前の約8倍となる160万ダウンロードに達する等、多くの利用に繋がったと考えてございます。今後も訪日外国人等の増加が見込まれる中、2026年度以降も継続し、Maasの更なる普及

促進、事業者が行う受入環境整備の取組に対してしっかり支援を行って快適な移動の実現に努めていきたいと思えます。また、下段には私ども大阪府が管理する歩道等の横断幕設置等、一般交通へのTDMの働きかけの取組とともに、先ほど全体概要で彌園局長からもご説明がありましたTDM全体の効果の検証結果を参考に付してございますので併せてご覧ください。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、ユニバーサルデザイン部会から吉田大阪府福祉部長、よろしくお願ひします。

(吉田福祉部長)

ユニバーサルデザイン部会です。当部会では府・市各部局連携して、万博会場外におけるユニバーサルデザインの推進に取り組んできました。

まず15ページの(1)ですが、観光施設における心のバリアフリー認定施設については121施設へと拡大しまして、また、市町村や宿泊施設等の行うインバウンド受入環境整備に対して補助することで音声翻訳機の導入や観光案内板、災害避難誘導情報等の多言語化対応等を促進してまいりました。また、大阪市内全域でユニバーサルデザインに準拠した観光案内表示板の整備を行い、更にホテル・旅館のバリアフリー化を進めるため、府の福祉のまちづくり条例の改正等を通じて来阪者の利便性向上や安全確保を図ってまいりました。今後は、飲食店を中心に心のバリアフリー認定施設を更に拡大するとともに、広報啓発を観光シーズンに集中して行います。また、旅行者の受入環境整備促進事業や今年度創設した既存宿泊施設のバリアフリー改修等に対する補助制度も継続してまいります。次に(2)ですが、まず、万博期間中に来阪外国人向けヘルプマーク1万枚作成しまして、宿泊施設等を通じて周知・配布しました。また、ちょっとした手助けや配慮をするあいサポート運動の取組や、障がい者差別解消に向けた周知啓発として大阪市出前講座や差別解消にかかる講演会の実施等を行いました。今後も引き続き障がいに関する府民の理解と認識の促進を行ってまいりますとともに、来年度から万博で展開された翻訳アプリ等を子ども家庭センターや女性相談センターにおける相談業務に多言語翻訳サービスとして活用してまいります。16ページをご覧ください。3つ目の(3)ですが、まず、ベビーカーや小さな子ども連れの方が公共交通機関を安心・快適に利用いただけるよう機運醸成を行いました。また、鉄道駅舎や駅周辺の主要道路等の重点的・一体的なバリアフリー化及びバリアフリー情報の提供を行うとともに、交通バリアフリー法に基づき市内の主要駅を中心に重点整備地区を定めて大阪市交通バリアフリー基本構想の見直しを23年度から実施いたしました。更には信号機に視覚障がい者用装置を整備し、視覚障がい者・高齢者等の安全・安心な移動環境を整備しました。これらを通じて小さな子ども連れの方々が外出しやすい社会づくり及び交通機関等のバリアフリー化による安全・安心な移動環境を提供して

まいりました。来年度からは公共施設・商業施設等へのベビーカーファーストトラック等の導入促進やイベントでの優先レーン等の設置促進等、子育て世帯が気兼ねなく外出できる環境の整備、定着を図ってまいりますとともに、今年3月に建築物のバリアフリーガイドラインを改定し、万博内で適用されたバリアフリー基準や取組等の反映を図る等、府域全域での更なるバリアフリー化に取り組みます。万博で展開された各種取組を踏まえまして、ユニバーサルデザインの考え方が広く浸透しますようソフト、ハードを通じて万博での取組をレガシーとして継承してまいります。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、参加促進部会から彌園万博推進局長、お願いします。

(彌園万博推進局長)

参加促進部会でございます。

17 ページの(1)でございます。ボランティアにつきましては会場内外で延べ14.6万人ものボランティアの方々に万博来場者のおもてなしをやっていただきました。今後でございますけれども、この盛り上がりをお市のボランティア文化の更なる醸成に繋げていくことが重要であると考えておまして、来年度から観光ボランティア事業を実施することとしております。続きまして(2)の子どもたちの万博会場への招待につきましては、府や市町村から配布されたチケットによりまして延べ71万人の子どもに会場で未来社会を体験いただきました。今後は会場での経験等も活用した探究的な学習の充実等に取り組んでいただく予定でございます。18 ページでございます。(3)大阪の魅力発信に向けたオール大阪による催事参加については、府内市区町村とともにだんじりや盆踊りのギネス世界記録、音楽フェスティバル等、祭をテーマとする大阪ウィークを開催いたしまして、56.3万人の方々にご来場いただきました。今後も大阪の魅力を国内外に発信するため、エンタメ、食、文化、芸術、スポーツ等の多彩なコンテンツを実施していく予定でございます。(4)障がい者・高齢者等の催事参加につきましては障がい者等が参画いたします舞台芸術や現代アート展覧会を開催いたしました。今後も最先端技術を応用した芸術鑑賞手法を創出していく予定でございます。19 ページになります。(5)国際交流につきましては参加国と府・市及び市町村におきまして様々な交流が展開されました。今後は万博で構築いたしましたネットワークを活かした国際交流セミナーの開催等を実施していく予定でございます。最後になりますけれども、(6)の修学旅行につきましては全国から多数の修学旅行生に大阪府内を周遊いただきました。今後も大阪が旅行先・修学旅行先に選ばれますよう万博を契機に造成した旅行モデルコースのPR等を実施していきたいと思っております。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、環境部会から原田大阪府環境農林水産部長、よろしくお願ひします。

(原田農林環境水産部長)

資料 20 ページをご覧ください。環境部会ではカーボンニュートラル、ゼロエミッションモビリティ、大阪ブルーオーシャンビジョンの3つの柱で取組を進めました。(1)のカーボンニュートラルの最先端技術の開発実用化につきましては、バスセンター等に設置されたペロブスカイト太陽電池やメタンネーション技術、帯水層蓄熱技術等の最先端技術が披露されました。今後、ペロブスカイト太陽電池について、府・市有施設への先行導入等により、社会実装の促進に取り組んでまいります。大阪湾MOBAリンク構想につきましては、万博会場内で藻場創出事例を紹介するとともに大阪ブルーカーボン宣言を発表いたしました。本年秋には豊かな海づくり大会が予定されておりますので、引き続き藻場等の保全再生創出を推進してまいります。次の 21 ページでございます。事業者や府民の行動変容につきましては、大阪版カーボンフットプリントを表示した大阪産(もん)を展示する等、万博会場でイベントを実施いたしました。現在、シェアサイクルを含めまして、府内店舗等でのカーボンフットプリントの表示は 20 ヶ所以上で実施しており、今後も府内各地での表示拡大に取り組んでまいります。続いて(2)ゼロエミッションモビリティにつきましては、府・市で補助いたしました 90 台のEVバス等が万博会場への来場者輸送に活用されました。今後も電動モビリティの普及を図り、脱炭素まちづくりを推進してまいります。22 ページでございます。(3)大阪ブルーオーシャンビジョンにつきましては、大阪ゴミゼロプロジェクトとして府域の清掃活動の活性化等の取組を実施し、21 万人の参加登録をいただきました。会場内では、大阪マイボトルパートナーズのメンバー企業により 59 台の給水器が設置され行列ができる等、来場者の行動変容が進みました。今後、海づくり大会に向けまして清掃活動の活性化やマイボトル利用促進に引き続き取り組んでまいります。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、スーパーシティ部会から市瀬大阪府スマートシティ戦略部長、よろしくお願ひします。

(市瀬スマートシティ戦略部長)

スーパーシティ部会です。当会の取組についてご報告をさせていただきます。

23 ページをご覧くださいませでしょうか。まず、スーパーシティについて、2020 年 4 月にスーパーシティ型国家戦略特区として大阪市域が指定され、同年 12 月には全体計画を策定しております。府と市が連携しながら、大阪・関西万博をマイルストーンとして各部会と連携しながら取組を進めてまいりました。私どもとするとこれからご紹介する各部

会でやってらっしゃる事業に対しまして規制緩和等に関与していた、そんな活動をしております。万博会期前の主な取組としましては、夢洲コンストラクションでは、A Iカメラを活用した車両認識による会場建設現場への円滑な入退場管理やA Iによる局所的な気象予測提供サービスによる天候に応じた作業予定の見直し等が実施されております。また、万博会期中には、これも各部会と連携してですが、ヘルスケア分野ではリボーンをテーマに大阪ヘルスケアパビリオンにおける未来の医療、健康サービスを提供、モビリティの分野では空飛ぶクルマのデモフライトや万博会場までのアクセスの一部でE Vバスの自動運転等が実施されております。今後は、引き続き未来社会の実験場としての万博レガシーの継承等、夢洲・うめきた2区地区やそれ以外のフィールドでもスーパーシティ制度を活用した取組を展開してまいります。

(志村万博推進局企画部長)

最後に、賓客歓迎部会から彌園万博推進局長、よろしく申し上げます。

(彌園万博推進局長)

賓客歓迎部会におきましては万博を契機に来阪する国内外からの賓客等への接遇提供のあり方について検討を行いまして、接遇要綱・要領の策定等を通じて府・市で連携した接遇体制を整備いたしました。会期中は関係所属が一体となって会場内外で海外賓客 869 件、国内賓客 267 件の接遇に対応してまいりました。参考に今回の実績を愛・地球博と比較いたしますと、海外賓客の件数が約2倍以上に増加している等、今回の万博を通じて日本そして大阪の認知度が向上したのではないかと考えております。こうした絶好の機会を活用いたしまして、来阪する賓客に心のこもった接遇を提供することにより友好交流先、姉妹都市等、既に府・市と関係性を有する国・地域との連携を強化するとともに、多数の新たな国等の関係を深めることができたと思っております。今後でございますけれども、2026年度以降も体制の強化を図りまして、こうした万博を契機とする交流のより一層の促進・深化を目指してまいります。

(志村万博推進局企画部長)

次に、万博閉幕後に実施しました万博に関する府民アンケート調査につきまして、万博推進局よりご説明いたします。

(彌園万博推進局長)

万博推進局でございます。

資料の1ページになります。万博閉幕後に実施しました府民アンケートの結果についてご説明させていただきます。本アンケートは、18歳以上の大阪府民2千人を対象に、専門家の意見等も踏まえまして質問項目を設定し、民間調査会社によるインターネットアンケ

ート調査として昨年12月から本年1月にかけて実施したものでございます。調査対象につきましては、性別や年齢、居住地域の割合を結果が公表されている最新の国勢調査に合わせて設定しています。更に万博に来場しなかった府民も対象にすることで、できる限り府民全体の意識を反映させた形とさせていただきます。その下、結果概要でございますけれども、まず1行目です。約4割が万博へ来場したとの回答を得ております。その下から主なポイントとして4点あるんでございますけれども、まず、閉幕後の万博への印象につきましては全体で67%、来場した方で約85%の方が良い印象を持っておりまして、開幕前と比較いたしますと10ポイント近く増加しております。次に万博の成功につきましては全体で約77%、来場した方で約90%の方が万博は成功したと回答されております。続きまして新技術への期待のところでございますけれども、全体で約60%、来場した方で約78%の方が万博を通じて新しい技術の実装化への期待が高まったと回答しておられます。最後に大阪の街への愛着や誇りににつきましては、全体で58%、来場した方で78%の方が万博を通じて大阪の街に愛着や誇りを感じるようになったと回答を得ております。特に実際に来場された方は顕著な傾向が出ていますが、本アンケートから府民の多くが万博は成功し、大阪にポジティブな影響をもたらし、新しい技術等、今後の部分に期待を高めていることがわかったと考えております。なお、2ページ以降にそれぞれの内訳を付けておりますので後ほどご参照いただければと思います。

(3) 大阪版万博アクションプランの振り返り

(志村万博推進局企画部長)

次に3番目の議題、大阪版万博アクションプランの振り返りにつきまして、松井大阪府政策企画部長よりご説明いただきます。

(松井政策企画部長)

改めて大阪府政策企画部長の松井でございます。大阪版万博アクションプラン振り返りにつきまして、概要版にて説明させていただきます。

資料3をご覧ください。まず2ページをご覧くださいませでしょうか。上のところでございますが、大阪府・大阪市といたしましても、万博をインパクトに大阪・関西、ひいては日本の持続的な成長・発展の実現、世界的な課題解決への貢献をめざし、大阪版アクションプランを策定し、取組を進めてきたところでございます。この度、これまでの万博に向けた取組や、万博開催中の取組を踏まえ、万博開催都市として万博の成果や理念をレガシーとして継承、未来へ繋げていくため、これまでの取組や到達点のフォローアップを行い、万博後のめざすべき姿の実現に向けた今後の方向性の取りまとめをいたしました。これまでの取組につきましては各部会長から詳細ご説明がございましたので、私からは特に今後の方向性に焦点を当ててご説明いたします。3ページをご覧ください。健康医療分野では未来医療国際拠点中之島クロスの機能を強化するとともに、令和8年度に開催される

World Health Expo Osakaを契機に、ライフサイエンスネットワークを構築してまいります。4ページ、モビリティ分野でございます。空飛ぶクルマの商用運航に向けた取組強化、自動運転レベル4の実装、関西広域でのMa a S拡大、電動車・ゼロエミッション車の更なる普及促進を進めてまいります。5ページ、環境分野では、カーボンニュートラルに関するベイエリアにおける産業集積拠点の形成やプラスチックごみ削減等、大阪ブルーオーシャンビジョンの目標達成に向けた取組の加速、大阪湾MOBAリンク構想の拠点藻場創出等を進めます。6ページ、スマートシティスタートアップ分野では、ディープテック分野でのスタートアップ創出支援の強化や今年度も実施予定のGlobal Startup EXPO等によるビジネスマッチング等、万博を契機に高まった世界の注目を維持・向上させ、国内外からの更なる投資を呼び込みます。7ページでございます。万博を通じて府内企業と海外企業との交流機会が創出されたところでございます。万博を契機に繋がりができた国・都市を中心に、今後、経済交流、都市間交流、人材交流が期待できる国との関係を構築、強化してまいります。なお、これまでの説明のうち、ライフサイエンス、空飛ぶクルマ、カーボンニュートラル、スタートアップ等の分野におきまして、万博で披露された新技術の実装化に向けた伴走支援を行うため、オール関西が一体となった体制を構築しようと考えております。次に8～9ページ、観光、文化、おもてなしの分野でございます。この分野におきましては、賑わい創出、誘客・周遊促進、食、文化、芸術、スポーツ等、万博会場内外で様々な取組を実施してまいりました。今後もこれらの万博のレガシーを活かした大阪の魅力づくり発信を強化してまいります。10～12ページでございます。移動の利便性向上に向けて、関空において就航ネットワークや国際貨物取扱機能の強化等を行いますとともに、国際観光都市にふさわしいおもてなし力の充実強化に向けておもてなし気質、ボランティア文化の機運醸成を進めてまいります。13ページ、学び・共生分野では、世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を推進するとともに、SDGs達成に向けた取組を加速化いたします。また、万博で進展した先導的バリアフリー設備の実装化を促進してまいります。14ページ、万博運営では世界的規模の国家プロジェクトを成功させた開催ノウハウや経験をレガシーとして継承し、新たな国際会議、イベント等の招致や国際都市大阪の確立へと活かしてまいります。以上、これらの取組は昨日の副首都推進本部で示した成長戦略であるBeyond EXPO 2025等において具体化してまいります。万博で実証された技術、構築されたネットワーク、府民の皆様の意識の変化、これらを確実にレガシーとして継承し、未来社会の実現に向けて、取組を加速してまいります。

(4) 大阪・関西万博による大阪経済等への影響

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、万博推進局より4番目の議題、万博の経済波及効果につきましてご説明いたします。

(清水万博推進局理事)

万博推進局理事の清水です。

資料4、大阪・関西万博による大阪経済等への影響をご覧ください。万博の経済波及効果についてご説明いたします。閉幕後の昨年12月に経済産業省において全国における暫定的な試算が行われました。開幕前の約2.9兆円の試算に対しまして、来場者消費等が上振れした結果、全国で約3.6兆円の結果が発表されました。民間シンクタンクの一般財団法人アジア太平洋研究所（APIR）においても試算が行われました。開幕前の約2.7兆円から、消費単価の上昇、特に会期後半における買い物代の上昇が顕著であったこと等により、全国で約3.1兆円の試算結果が発表されました。大阪府域につきましては、大阪産業経済リサーチセンターで経済波及効果を試算しましたところ、開幕前の約1.6兆円から建設費等のインプット数値が増加したことや最新の産業連関表を用いたこと等により、閉幕後は約2.1兆円という試算結果になりました。次のページをご覧ください。APIRの数量経済分析センターの稲田センター長より、経済波及効果に関してコメントを頂戴しております。その内容としましては万博の経済波及効果は開幕前の試算を上回り、一層の取込に成功した一方で、関西全体での波及という点で関西広域での観光について課題が残り、今後の一層の磨き上げが必要とのこと、また、中長期的に成果を持続的な成長に繋げるためにはビジネスマッチングや新技術の社会実装により投資拡大等に向けた後押しは必要といったコメントをいただいております。

(志村万博推進局企画部長)

最後に、大阪・関西万博による大阪の経済等への影響について三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社執行役員の秋山様からご説明をお願いいたします。

(秋山三菱UFJリサーチ&コンサルティング執行役員)

三菱UFJリサーチ&コンサルティングの秋山でございます。番号5の資料に基づきましてご説明を進めさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

1ページ目ですけれども、今回の大阪・関西万博による大阪経済への影響ということで発表の機会をいただくことになりまして色々ご相談をさせていただいたんですけれども、2月5日時点まで公表された資料で作成をしております。また、皆様ご承知の通りかと思っておりますけれども、色々な統計数値は1年以上経ってから公表されるものがほとんどでございまして、現時点で直接的に利用可能な統計は月次でデータ公表されているものに限られておりますので、そういったものを活用してご説明させていただきます。また、万博に限定した統計は実は世の中にほとんどありませんで、色々なものの中に万博の効果も含まれていると、そういう形でご覧いただければと思います。ただ、色々な投資や消費が行われておりますのでそういったものが確認できるものについてご紹介をさせていただく形で

資料をご覧いただければと思います。また、今の時点で万博の効果で明示的にお示しできるものは限られているんですが、やはり皆様が色々ご説明されたレガシーを活かしていくという発想で更なる経済発展に繋げていくという視点が非常に重要だと考えております。次めくっていただきまして、ページ番号2でございますけれども、全体としてはこのような流れでご説明をさせていただく予定でございます。最初にそもそも万博にいくらのお金が投じられたのか、消費されたのかについて全体の概観を示した上で、大きな2番目に投資でどのくらいのお金が動いてどういうふうに影響が確認できるのかということ、それから次が来場者の消費でどういったような変化が確認できるか。4番目に府内総生産GRPでどういった部分まで確認できるのか、そして、最後にその他で企業等の評価をご紹介させていただくという形で進めさせていただきたいと思っております。

1枚めくっていただきまして3ページ目でございますが、はじめに万博の事業費、それから消費の規模感について説明をさせていただきます。図表1が万博の事業費でございます。全体として7,300億円の投資が行われているわけですが、大きく建設基盤投資の水色の部分とそれ以外ということで分けるとこんな形で投資が行われているということになります。それから右側が来場者の消費額、大阪府に落ちたものだけでも約6,700億円になるだろうということがAPIR様の推計で明示されております。めくっていただきまして5ページ目でございますが、今ご説明した投資と消費は大阪の経済規模に比べるとどのくらいになるのかを示したものがこちらの図表でございます。水色の棒グラフが大阪府民経済計算の中に掲載されております経済活動別の産出額で、濃い青が万博の事業費、濃い赤が来場者の消費額、比べるとこういったものでございまして、万博はかなりのお金が投じられたんですが、かと言って大阪の経済がこれで2～3割も持ち上がるのかというほどの規模になるというものではないことをまず押さえた上で説明を進めさせていただきます。2枚めくっていただきまして左下7ページ目でございます。まず、公共投資についてご説明をさせていただきたいと思っております。万博の投資でかなりのお金が投じられております。7ページ目の公共投資につきましては左側が大阪府、右側が全国でございますけれども、ご覧いただいた通り青い折れ線がだいぶ上に左側跳ねていると思っております。万博の投資が本格化した2023年から大阪の投資額はかなり大きくなっておりまして、24年に若干下がりましたがそれでも全国と比べてかなり高い水準で推移をしております。続きまして8ページ目でございますが、今度は民間投資をご覧いただければと思います。図表の5でございますけれども、左が大阪府の赤い折れ線がかなり上に跳ね上がっているとありますが、2025年の3月、4月で大きく跳ね上がっておりますので、万博の基盤投資は基本的に終わっております。こちらはIRの初期投資が始まったということでございます。万博に向けた色々な投資があつて、その先のIRの投資に繋がっていることで、IRも含めてかなり大きな効果が期待できるというところでございます。続きまして9ページ目でございます。民間投資の中でもホテルもかなり立地しましてたくさん部屋が増えております。2023年、24年のところの棒グラフの赤い部分、こちらは500室以上のホテルの開業部屋数で

ございますけれども、かなりたくさんホテルが開業いたしまして部屋が増えたという状況が確認できております。続きまして10ページ目ですけれども、民間投資の中で各鉄道会社の設備投資もかなり伸展いたしました。皆様よくご存知の大阪メトロの車両が増えたりとかそういったようなことも含めましてかなり色々な投資が鉄道各社でも行われております。めくっていただきまして次11ページ目でございますけれども、参考としてお付けしましたが、弁天町駅がリニューアルされまして、周りも大分開発が進んだということもあって、弁天町駅近くの地価調査地点の上昇率が2025年に大きく跳ね上がっていることも確認できております。続きまして2枚めくっていただきまして13ページ目をご覧ください。先ほど冒頭の万博協会様から来場者のご紹介ありましたが、全体を海外国内合わせるとこんな形で来場者がたくさん来られていました。右側のグラフで来場者1人当たりの消費額を見ると、こういった内訳になっておりまして、外国人については1人で14.8万円の消費が行われたといった形の消費単価になっておりまして、この人数と単価を掛け合わせると冒頭にご紹介した消費額になるという仕組みでございます。続きまして14ページ目、消費の中で一番大きな部分を占める部分が宿泊でございます。左側の図表11、これは日本人と外国人両方ですけれども宿泊施設の稼働率も万博期間かなり高い水準で推移をしております。右側の訪日外国人客も万博期間4月、6月、7月、9月までとなっておりますけれども、全国と比べて高い伸びを示していることが確認できます。1枚めくっていただきまして15ページ目でございますけれども、万博でお越しになられた外国人観光客を含めて百貨店での売上にもかなり寄与していることが窺われます。15ページの左側全体でも全国を上回る伸びを示しておりますが、一番右側化粧品等を含むその他商品につきましては全国をかなり上回る高い水準で消費が進んだことが確認できます。続きまして次16ページ目、消費の中のひとつの項目であります交通は、鉄道各社の発表に基づきまして旅客数がどの程度増えたのか、収益がどれくらい上がったのかについて整理をさせていただいております。一番顕著に増えたところは、皆様もご存知の通りかと思っておりますけれども、地下鉄中央線が会場に乗り入れました大阪メトロでございまして、収益が万博関連だけで219億円と公表されておりますし、遠距離からの来場者をかなり運びましたJR西日本や近鉄グループでもかなり収益の増加が顕著になっていることを確認できております。続いて18ページ目になりますけれども、今までのことも含めまして大阪の経済成長にどのくらい寄与したのかでございますが、残念ながら府民経済計算は1月16日に公表された最新のデータに基づいた整理でございますけれども、最新データが2023年度までになっておりまして、2024～2025年度につきましては今年度の発表を待たないといけないわけですけれども、2023年度名目で4.3%の経済成長で、公共投資・民間投資がこれを引っぱったということが窺える状況になっております。1枚めくっていただきまして19ページ目にご紹介をさせていただいておりますけれども、建設業の総生産名目ベースで大阪府は全国をかなり上回る伸びを示しておりますし、公的資本形成の公共投資に関わる部分の数字もかなり高い水準になります。また1番右側の建設業の就業者数も

かなり増加していることが確認できております。続く 20 ページでございますけれども、こちらは雇用への影響で建設に関わる建設、土木、電気工事の職業の有効求人倍率も投資に伴ってかなり高い水準で盛り上がったことが確認できております。次めくっていただきまして 22 ページ目、その他の効果をいくつかご紹介させていただきます。まずは企業アンケートですが、こちらは大阪商工会議所様の会員向けのアンケートで大阪の企業が中心でございますけれども、成功だったといったような形で紹介をされております。非常に効果があったというような回答も併せてなされております。めくっていただきまして 23 ページ目、こちらは全国の企業を対象にした帝国データバンクさんの調査でございますけれども、4 月と 10 月の 2 回に分けてアンケートされておりますけれども 4 月よりも 10 月の閉幕が近くなった時点でのアンケートではかなり日本経済のプラスの材料として評価できるという回答が大きく上昇していることが確認できます。次 24 ページ、皆さんがよくご存知かと思いますが世界都市ランキング、森記念財団が行っているものですが、こちら大阪の順位が 35 位から 18 位とかなり大きく躍進をしております。文化交流という部分の得点が大きく伸びて全体の中でかなり上昇が顕著に見られたというところがございます。最後に 25 ページですが、G o o g l e の検索で「OSAKA」、「EXPO 2025」がどのように検索されたのかを数値化しております。「TOKYO」と「OSAKA」、当然「TOKYO」の方が絶対数多いんですが、2022 年 1 月を出発点とすると万博期間を含めて「OSAKA」の検索がかなり伸びていることが「EXPO 2025」の検索によって押し上げられている可能性があることが窺われるということがございます。最後、26 ページにまとめとして記載をさせていただきました。大阪・関西万博は万博事業費の支出と来場者の消費によって大きく大阪の経済に影響を与えております。ホテルを含む建設やインフラ投資が進みました。それから来場者の消費によって色々なものが上向いたというところがございます。ただ、皆様から色々ご報告がありましたように万博のレガシーをいかに活かして次に繋げていくかが非常に重要でありまして、今までの万博の費用を更に一足、二足、地についたものにしていくためには今後の取組が非常に重要だと認識をしているところがございます。

(志村万博推進局企画部長)

議題は以上になります。なお、万博に要する府・市の費用につきましては、来年度の府・市の予算案を反映後、今月中にホームページにて公表予定です。それではここまでの説明内容について、ご質問やご意見等がございましたらお願いいたします。

松井大阪府政策企画部長、お願いします。

(松井政策企画部長)

三菱UFJリサーチ&コンサルティングさんの資料でお聞きしたいんですが、G o o g l e の検索回数では「OSAKA」が伸びたと資料を出していただいていたが、ご説明が

あったように全体回数ではやはり「TOKYO」の方が多いいということ、それがどれぐ
らいの差があるのかという絶対的な回数の比較数字を教えてもらえたらありがたいなとい
うのと、もう1点はこの検索回数で「OSAKA」が伸びている2025年の8月や5月等
を見ると「TOKYO」でも同じように伸びており、また、「EXPO 2025」も同じ
ような曲線を描いているが、万博の効果が「OSAKA」だけでなく「TOKYO」の
検索回数にも影響したという見方でいいのかの2点を教えてもらえますでしょうか。

(秋山三菱UFJリサーチ&コンサルティング執行役員)

まずGoogleの検索回数、「OSAKA」と「TOKYO」の検索の絶対的な水準
についてなんですけれども、万博前までは大体「OSAKA」と「TOKYO」を比較し
ますと、「TOKYO」が「OSAKA」の4～5倍の検索件数となっておりまして、万
博期間に限ると大体これが3倍ぐらまで差が縮まるような状況になっているとい
うことでございます。「EXPO 2025」の検索と「OSAKA」及び「TOKYO」の
検索の上昇の関係なんですけれども、「TOKYO」の検索が影響を受けているのかわか
りかねるのでお答えするのが難しいんですけれども、「OSAKA」につきましては一定程
度、万博の検索とセットで「OSAKA」それから「EXPO 2025」といった形で
検索をされていることもかなり考えられるということです。検索はプラスのニュースがあ
ったから増えるということではなく、例えば、台風が来たりとかして万博に行けるかどう
かみたいなことになると検索回数が急に増えたりとかしてそういったのがどうもございま
すし、イベントとの関係でも増えたりするので、詳細な分析になるとかなり色々なキーワ
ードを組み合わせながら検索を繰り返さないとはっきりわからないこととございま
すので、今時点でわかっている概況としてはご説明させていただいた通りでございます。

2 その他

(志村万博推進局企画部長)

それでは最後に本部長及び本部長代行にまとめていただきたいと思います。まず、吉村
本部長、お願いいたします。

(知事)

まず、本日の会議において今回の万博を通じて非常に大きな経済効果が生じるとともに
先ほど三菱UFJリサーチ&コンサルティングさんからも報告がありましたけれども、非
常に高い経済成長率とまた総生産の増加等、大きな経済効果があったと思います。また、
協会さんから報告ありましたが、外交やビジネス、文化、人と人との交流のような目に見
えない大きな成果もあったかというふうに思います。また、それぞれ各部会からの報告を
受けました。万博における取組の実績と万博のレガシーといえる今後の取組の方向性につ
いても示されたところです。府民アンケートもありましたが、報告にありました通り約8

割の方が万博は成功したと評価しておられ、また、非常に大きな未来への期待も得られたところでもあります。今後はこうした万博で生まれた繋がりや交流、新たな価値観、イノベーション、経済効果等、そういったものをソフト及びハードの両面から万博のレガシーを継承や発展、実装化していくということが何より重要だと思います。ソフト面においてはライフサイエンスや空飛ぶクルマ等の次世代モビリティ、カーボンニュートラル等、万博で実証された革新的な技術やサービス、価値観を実装していくために国・経済界と一体となった体制を構築していきたいと思っています。そして新たな研究開発やビジネスモデルの創出をめざしていきます。また、ハード面については昨日の副首都推進本部会議で行いましたが、万博会場跡地を含めて夢洲全体で万博の記憶や成果、それを発信するレガシーの発信拠点としてのまちづくりを進めていければと思っています。

本日をもってこの本部会議は終了いたします。万博において大きな事故や事件がなく、そして、多くの皆さんがこの万博を評価していただき、また、大きな成果が生まれ、次の未来社会を繋げていくことができたことは非常に大きなことだと思っています。

この間、万博を成功するにあたってまさにオール大阪で進めていただいたここにいる幹部や職員、また、支えてくださった全ての皆さんに感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

今後、この万博で生まれた成果やレガシーを更なる大阪・関西ひいては日本の成長に繋げてまいりたいと思いますので、ぜひ所属長の皆さん、そして府・市一体となり、また、国とも協力して大阪であった素晴らしい万博を次の新しい未来に繋げていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。本当に皆さん、ありがとうございました。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、横山本部長代行、よろしくお願いします。

(市長)

取りまとめをいただきましてありがとうございます。そして高科さん本当にありがとうございました。協会の皆さんとは万博の期間中も大変多くのやり取りをしまして、時には侃々諤々の議論をさせていただきました。今振り返ると本当にあつという間でしたが、皆さんと協力して乗り切ることができたことを本当に嬉しく思います。毎日改善というのは本当に素晴らしかったと思います。開場が終わってからそれを翌日に活かしていくのは大変な作業だったと思いますが、お力をいただいて晴れて万博成功にできたこと本当に嬉しく思います。

また、秋山さんありがとうございます。万博は大阪・関西に大きな影響を与えたこと、一方で更に関西全体で波及を伸ばしていく余地がまだまだあるなと感じますので、広域で観光施策を進めていくという点について今後も力強く進めていきたいと思っています。

また、各部会の皆さん本当にたくさん課題の振り返りとそして今後に向けての取りまと

めもありがとうございます。府政及び市政をあげて万博で得られたレガシーを前に進めていきたいと思えます。思い出深いことたくさんありますし、僕はこの姉妹都市やMOU、また、英国のマンチェスターとも新しい絆ができましたし、11の国・都市等と姉妹都市やMOU等を結ぶことができました。大阪が国際化に向けてどんどん飛躍していきたいと思えます。

私の方からも最後に職員の皆さん、関係者の皆さんに本当に感謝申し上げたいと思えます。本当に大変なイベントでしたが、皆さんの協力のもとで大きく成功することができました。これからも大阪・関西の発展に向けて全力で取り組んでいきたいと思えますので、皆さん方におかれましても引き続きよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

(志村万博推進局企画部長)

これもちまして、2025年大阪・関西万博推進本部第14回会議を閉会いたします。

なお、政府の万博推進本部と同様に、この2025年大阪・関西万博推進本部につきましても、年度末に廃止することとしております。この間の推進本部の円滑な運営にご尽力賜り、誠にありがとうございました。

以上